

編集後記

数年前、耳鳴りが激しくなったが、仕事が忙しく病院に行けなかった。やっと受診した病院で聞いた診断結果は、両耳の難聴でもう回復は見込めないとのこと。その時は、聴覚神経がおかしくなって「聞こえなくなった」代わりに耳鳴りが「聞こえている」という話に、我がことながら人体の仕組みにびっくりした。なってしまったものは仕方ないので、これ以上悪くならないように生きていくしかないのだが、日常生きていくにもなかなかしんどくなった。例えば、騒がしい場所での会話が全くできなくなった。騒がしくなくても聞き直さないで相手が何を言っているのかわからないので、ポケテないのにポケテると勘違いされる。映画を見るにも字幕がないとだめで、字幕のない日本映画より字幕付きの洋画の方が楽しい。日本のテレビ番組はよく字幕を付けてくれて、さらに最近のデジタル放送では画面を埋め尽くすくらい大盤振る舞い(元の映像が見えない?)で

非常に助かる。だが、この間の朝日新聞の記事でTBSのアメリカ総局長なる人物が、字幕は「バカなマネ」でありテレビのもつ想像力喚起の機能を著しく損なっていると批判していた。想像力の問題だろうか?目が悪くなったら眼鏡をかけるように、耳が悪くなったら補聴器なのだが、補聴器は眼鏡ほど確実性はなかった。私の場合、音の周波数スペクトル(!)のある領域だけ聞こえなくなったのだが、その欠損領域だけを増幅するのは難しいそうだ。しかも、この機能の補聴器は10万円以上もして、ないよりはあった方がよい程度のものであった。私は技術者ではないからよくわからないのだが、プラズマの乱流計測の技術があれば、こんな機能なんてお茶の子さいさいのような気がするのだが。前置きが長くなったが、学会誌の記事作りも一種のバリアフリー化、つまり皆がわかりやすく納得するものを作るものだと、2年間の編集委員の活動で思った次第です。少しでもお役に立てたら幸いです。(林 伸彦)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	本島 修	副会長	小川 雄一	藤山 寛	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 板垣 正文 (広告委員長) 坂本 慶司 寺井 隆幸 (編集委員長) 林 康明		疇地 宏 加藤 敬 笹尾眞實子 畑山 明聖 (広報委員長) 山崎 耕造 松尾 慶一		伊藤 早苗 (企画委員長) 近藤 光昇 (財務委員長) 佐野 史道 (出版委員長) 浜口 智志 (プログラム委員長)	
監 事	飯尾 俊二					

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 寺井隆幸 (東大)

エディター 岡子秀樹(九大), 田中雅慶(九大), 福山 淳(京大), 村上匡且(阪大), 室賀健夫(核融合研), 行村 建(同志社大)

編集委員 石島達夫(名大), 市来龍大(大分大), 出射 浩(九大), 伊藤清一(広島大), 打田正樹(京大), 江原真司(東北大), 大谷寛明(核融合研), 神谷健作(原子力機構), 假家 強(筑波大), 菊池崇志(長岡技科大), 菊池祐介(兵庫県立大), 栗本祐司(シャープ), 近藤正聡(核融合研), 齋藤和史(宇都宮大), 坂本隆一(核融合研), 四竈泰一(京大), 高橋幸司(原子力機構), 田中康規(金沢大), 濱口真司(核融合研), 原 正憲(富山大), 東口武史(宇都宮大), 藤岡慎介(阪大レーザー研), 前原常弘(愛媛大), 三浦英昭(核融合研), 三宅弘晃(東京都市大), 宮本光貴(島根大), 森 道昭(原子力機構関西)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第85巻第7号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2009年(平成21年)7月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。